

事業番号	15 03 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	高等学校学びの支援事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課				
		実施期間	S27 ～	E-mail	koko @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・国内外の大きな社会変動による先行きの不透明な時代を生き抜くためには、自ら問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質・能力が必要であるという背景のもと、学習指導要領改訂、高大接続改革により、高等学校教育の転換が求められている。また全国的に少子化が進行しており、長野県においても同様の傾向が見られ、今後も長期的に子どもの減少は続く見通しである。
- ・授業や日常生活に支障のある帰国生徒や外国籍の要支援生徒に対しては、専門性の高い知識を有した外部人材等による適切な支援が必要とされている。

2 事業目的

- ・長野県の高校教育として多様な学びの場と学びの仕組みを用意し、全ての高校がこれからの時代に必要とされる新たな学びに転換することによって、全ての生徒が自ら夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現を目指す。また、新たな学びを支える環境づくりを推進し、各校の規模や特色を生かして、活力の維持と学びの質の向上を図る。
- ・要支援生徒が在籍する場合において、校内相談、支援体制を構築・拡充し、授業や日常生活へのより速やかな適応を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①県立高校の施設の充実・整備
- ・県立高校に通う生徒が安心して快適な学校生活を送ることができるよう、校舎等の老朽化対策やZEB化、トイレの環境改善、実習・実験設備の更新などの県立高校の施設整備を計画的に実施。
- ②時代に合わせた県立高校の教育環境づくり
- ・「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画」で決定した再編統合新校の目指す学校像や教育方針など、「新たな高校づくり」を地域と協働して推進するとともに、これからの時代にふさわしい学びや学習空間を学校や地域と共に検討し、「新しい学び」に対応した学校づくりを実施。
 - ・県立高校の入学者選抜業務の効率化を図るため、電子採点システムの導入による業務のデジタル化を実施。
 - ・再編・統合又は学科転換を予定している高等学校において、令和4年度から実施しているNSDプロジェクトの取組を踏まえた校舎の設計及び工事に着手。
 - ・教員用パソコンの順次小型化に向けて、教員の事務作業効率の担保・向上のため、教員にパソコン用モニターを配備。
- ③学習に困難を抱える生徒への支援の充実
- ・外国籍生徒や帰国生徒、定時制・通信制課程の生徒、障がいある生徒などの県立高校における授業や日常生活の面で支援を必要とする生徒に対し、安心して学べる環境を提供。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	トイレの洋式化率	%	52.0		55.0	↗	57.8	↗	57.4	達成	R8年度までの整備計画の中で各年度の洋式化率を目標とする。
②	全県立高等学校のうち、1月あたりの時間外勤務時間（各月平均時間）が45時間以下の学校数の割合	%	68.0		73.1	↗	82.5	↗	71.1	達成	入学者選抜事務のDX化により前年度を上回る71.1%を目標とする。
③	日本語支援生徒のアンケート満足度「助かっている」の回答率	%	91.7		88.9	↘	96.9	↗	90.0	達成	R5年度と同様の支援を行うため、前年同水準以上を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	学校の教育活動全般に対する生徒(高校生)の満足度	%	2022 (R4)	85.3	2023 (R5)	84.4	2024 (R6)	85.2	2027 (R9)	84.3

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	0	1,421,761	1,076,119	2,497,880	948,339	1,450,608	19.2
R5年度	0	1,127,821	41,456	1,169,277	607,622	1,121,462	19.2
R4年度	2,448,041	706,961	27,290	3,182,292	1,425,026	1,388,039	19.2

事業番号	15 03 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	高等学校学びの支援事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課	

7 主な取組実績と成果

①県立高校の施設の充実・整備

以下の取り組みにより、生徒の学習環境を改善することができた。

- ・31部屋のトイレの和便器の洋式化に加え、床の乾式化、衛生器具の更新等総合的な環境改善を実施した。

②時代に合わせた県立高校の教育環境づくり

以下の取り組みにより、「新しい学び」に対応した学校づくりを実施した。

- ・県立高校の入学選抜や定期考査における採点業務をデジタル化し、業務の効率化を図るとともに正確な採点業務に繋げるため、県立高校23校で電子採点システムを試行導入した。
- ・統合新校ごとの「再編実施基本計画」を地域と協働して検討するため、「新校再編実施計画懇話会」を計47回開催し、進捗状況に
応じて、目指す学校像、教育方針、校地・施設・設備、教育内容等について議論を深めることができた。議論の詳細については下記を
参照（<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/koko/gakko/saihen/joho/manabinokaikaku.html>）
- ・再編・統合する県立高校の施設整備にあたり、生徒や地域の思いに沿いながら、新しい時代の学校に求められる機能等を施設整備
に反映できるよう、専門家が関与する仕組みにより、施設整備基本計画を策定した。計画策定後は、当該計画に基づき設計業務を
行い、当該設計に基づき、建設工事及び改修工事を実施した。
- ・教員用パソコンの順次小型化に向けて、教員の事務作業効率の担保・向上のため、教員にパソコン用モニターを配備する。（令和7
年度へ繰り越したため事業実施なし）

③学習に困難を抱える生徒への支援の充実

以下の取り組みにより、支援が必要な生徒への学習環境を整備することができた。

- ・県立高校 1 校において定時制課程運営にかかる設備整備を実施した。（令和 6 年度整備校数 1 校）
- ・定時制課程及び通信制課程に修学する生徒のうち、一定の要件を満たしている生徒に対し教科書購入費の補助を行った。（令和 6 年度 定時制 16 校、通信制 2 校実施）。
- ・生活支援相談員を 31 名配置し、外国籍生徒や帰国生徒が高等学校における授業及び日常生活に速やかに適応できるよう支援した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	トイレの洋式化率	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
生徒の要望を踏まえ、和便器の洋式化に加え、床の乾式化、衛生器具の更新等総合的な環境改善を実施した。31部屋のトイレを改修し、洋式化率は57.8%となり目標を達成することができた。							
指標 ②	全県立高等学校のうち、1月あたりの時間外勤務時間（各月平均時間）が45時間以下の学校数の割合	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
一部の学校で電子採点システムを導入し、入試選抜等での採点業務の効率化を図った。また、前年度と比較して全体的に各月の時間外勤務時間の平均時間が減少していることから、教職員の時間外勤務時間縮減に対する意識が向上したことにより目標を達成することができたと思料。							
指標 ③	日本語支援生徒のアンケート満足度「助かっている」の回答率	R5年度推移	↘	R6年度推移	↗	達成状況	達成
生徒自身に対する支援のみならず、日本語が不自由な保護者との懇談会の際に支援員を活用いただいたこと、また、授業で理解できない部分を助けてもらえただけでなく、生活面での支援をしてもらえたことに対する満足度が高く、目標数値を上回った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・日常生活に支障のある要支援生徒、定時制生徒、通信制生徒に対し、安心して高校生活を送るための支援を実施しているが、生徒一人ひとりの事情に応じたきめ細やかな支援が求められている。
- ・「再編・整備計画」により、統合新校ごとに「新校再編実施計画懇話会」を開催し、進捗状況に応じた議論を進めてきた。また、再編・統合に伴う施設整備については、生徒や地域の思いに沿いながら、新しい時代の学校に求められる機能等を施設整備に反映できるよう専門家が関与する仕組みにより「施設整備基本計画」の策定に取り組んできた。今後については、これまでの取組を継続し、「施設整備基本計画」を策定した高校について、設計業務等に取り組むとともに、設計が完了した高校については着実に工事を進める必要がある。
- ・県立高校の学習環境・生活環境の改善については計画的に実施しているものの、生徒が安心して快適な高校生活を過ごすことができるよう、老朽化対策、トイレの環境改善、実習・実験用設備等の整備・更新が引き続き必要である。

(2) 事業改善の方策

- ・要支援生徒等に対する支援を継続して行っていく。支援が必要となる外国籍生徒や帰国生徒は依然多く、言語も多様化しているため、生活支援相談員の配置等を充実させることで生徒の学校生活への適応の支援に取り組む。また、合理的配慮が必要となる生徒等について、個別の事情に応じた支援を進めることで校内支援体制の充実を図る。
- ・統合新校について、「新校再編実施計画懇話会」等の意見や要望に寄り添い、開校に向けた準備を進めていく。また、施設整備にあたっては新しい時代の学校に求められる機能等を施設整備に十分反映できるよう専門家とともに継続的に取り組む。
- ・学習・生活環境の改善に引き続き取り組んでいく。トイレについては、生徒の要望を踏まえ、和便器の洋式化に加え、床の乾式化、衛生器具の更新等総合的な環境改善を実施する。また、理科教育及び産業教育に係る設備等についても更新を継続する。
- ・一部の学校で導入した電子採点システムの効果を検証しつつ、引き続き教職員の時間外勤務時間縮減に取り組む。

事業番号	15 03 01	細事業一覧（令和 6 年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	高等学校学びの支援事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	経常運営費		1,006,432 千円	627,990 千円	422,061 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県立高校学習環境改善事業	直接	トイレについて、和便器の洋式化、床の乾式化、衛生器具の更新等を実施		
			整備対象 31部屋		
2	高等学校長野スクールデザイン（NSD）実施事業	委託	再編・統合する県立高校の施設整備にあたり、生徒や地域の思いに沿いながら、新しい時代の学校に求められる機能等を施設整備に反映できるよう、専門家が関与する仕組みにより、施設整備基本計画を策定		
			計画策定 4 校		
3	県立高校再編実施計画検討事業	直接	統合新校の目指す学校像や教育方針などを地域と協働し検討するための「新校再編実施計画懇話会」の開催		
			統合新校ごとの懇話会開催回数 最大 6 回（2 回～ 6 回）		
4	学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業	直接	社会に開かれた学校で生徒自らが問いを立て、多様な他者と協働し課題に取り組める環境を整備するため、学校と社会をつなぐ連携コーディネーターを配置（コーディネーターを 2 名→ 5 名に増員した）		
			連携コーディネーター5名配置によりカバーした校数 10校		
5	聴覚障がいのある生徒を支援する遠隔パソコン文字通訳システム活用事業	直接	聴覚障がいのある生徒の学びをサポートするため、遠隔パソコン文字通訳システムによる要約筆記を委託により実施		
			支援が必要な生徒がいなかったため、事業実施なし		
6	電子採点システム導入事業	直接	県立高校の入学者選抜における採点業務をデジタル化し、業務の効率化を図るとともに、正確な採点業務に繋げるため、一部の県立高校で電子採点システムを試行導入		
			導入校 23校		
7	高等学校 I T 環境整備事業	直接	教員用パソコンの順次小型化に向けて、教員の事務作業効率の担保・向上のため、教員にパソコン用モニターを配備（令和 7 年度 2 月県議会で予算計上した事業であり、令和 7 年度へ繰り越したため事業実施なし）		
			配備予定台数2,500台について令和 7 年度へ繰越		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	理科教育設備・産業教育設備整備事業費		270,650 千円	273,898 千円	265,121 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	理科教育設備整備	直接	理科教育のための実験・実習設備の整備、老朽化した設備の更新		
			整備対象 40校		
2	産業教育設備整備	直接	産業教育のための実験・実習設備の整備、電子計算組織等のリース・運用		
			設備更新 13校		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	特色ある学科設置事業費		94,749 千円	86,356 千円	82,884 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	特色学科の設置・運営	直接	特色学科を運営するための外部講師の招聘、運営システムの導入、外部実習の実施等 設置数 13校10学科		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	高等学校再編施設整備事業費		－ 千円	117,367 千円	672,871 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	高等学校再編施設整備事業	直接 委託	再編・統合又は学科転換を予定している高等学校において、令和4年度から実施しているNSDプロジェクトの取組を踏まえた校舎の設計及び工事を実施 設計4校、工事1校		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費		3,054 千円	2,468 千円	3,131 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	直接	外国籍生徒や帰国生徒の高校生活をサポートするための生活支援相談員を配置 生活支援相談員等従事時間数 969時間		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	定時制課程運営費		3,736 千円	3,929 千円	4,182 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	教育設備充実事業	直接	定時制課程の運営にかかる消耗品の購入及び施設の整備 整備対象 1校		
2	定時制課程教科書購入費補助事業	直接	夜間定時制課程に修学している生徒を支援するため、対象となる生徒に対し、教科書購入費を補助 補助校数 16校		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
7	通信制教育運営費		441 千円	578 千円	358 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	通信制生徒子弟託児事業	直接	通信制課程の生徒がスクーリングに出席できるように託児所を開設 保育士の配置 1校		
2	通信制課程教科書購入費補助事業	直接	通信制課程に在籍する生徒のうち、一定の要件を満たす生徒へ教科書購入費を補助 補助校数 2校		